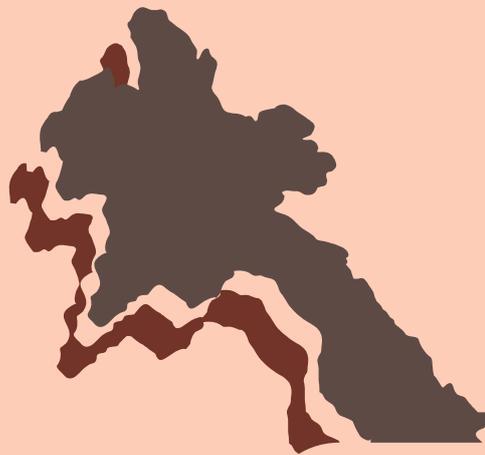


世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

🇱🇻 ラオス人民民主共和国 🇱🇻



【表紙の写真】

タート・ルアン（右上）

首都ビエンチャンにあるラオスで最も重要な宗教建築物でラオス国民の心の象徴です。黄金色の仏塔の中心部は、蓮のつぼみを長く引き伸ばした曲線で表されています。内部には仏舎利が納められていると信じられています。

モン族のお正月（左下）

モン族のお正月です。女性が着ているのはモン族の民族衣装です。衣装は、1年以上かけて美しい刺繍を施し、縫い上げていきます。お正月には、踊り、ゲーム、闘牛、歌合戦が披露されます。さまざまな屋台も出ます。

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 こんな風に使えます!
- 05 なぜラオス人民民主共和国?

第1章 ラオスってどんな国?

= 伝統を守り続ける癒しの国 =

- 07 クイズ100人に聞きました!
- 09 さまざまなラオス
- 11 ラオスの民族衣装と文様
- 13 ラオスの学校! ウソ? ホント?
- 15 ラオスの人が大切にしていること・守りたいもの
- 17 ラオスの民族衣装ギャラリー

第2章 ヘえ〜! ラオスと日本

- 19 ラオスと日本のつながり ウソ? ホント?
- 21 ラオスと日本のお祭り
- 23 ラオスも日本もお米を食べます
- 25 ある!? ない!?
- 27 フォトギャラリー

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

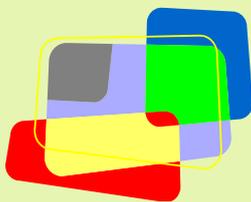
- 29 プーさんのある一日
- 31 ラオスに残る不発弾 ~平和って何だろう?~
- 33 フォトギャラリー

第4章 そして未来へ

- 35 『多文化共生社会』ってどんな社会?
- 36 号外! 号外! 20年後の新聞です
- 37 多文化共生社会と地球的課題

参考資料

- 39 目で見るラオス
- 41 ラオス地図
- 43 参考文献・データ等の出典
- 43 ご協力いただいた方たち
- 43 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係がつけられたらいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ラオスのほんの一面です。本書だけでラオスのすべてがわかるわけではありません。ラオスに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。P.3～4に掲載した使い方の例を参考に、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



ちょっとブレイク一口コラムです。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



データ等の出典です。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



写真の撮影者です。



こんな風に使えます！

例えば、こんな使い方はいかがですか？

第1章 ラオスってどんな国？ = 伝統を守り続ける癒しの国 =

P.7 クイズ100人に聞きました！

ラオスを学ぶ学習の導入として使えます。正しい答えはなかなか出てこないと思いますが、正しい答えを求めることがねらいではありません。わたしたちは、1つの国を国全体のデータや象徴的なものだけで捉えがちです。それも大事なことです。それ以外のことは意外と知らないということに気づいて、「ラオスっていったいどんな国だろう」と興味を持ってもらい、次の作業につなげるとよいでしょう。本書では、ラオスと田原市を比較する設問を掲載していますが、田原市の部分を参加者の地域、あるいは日本に置きかえ実施してください。比較することによって、地域や日本についても学ぶことができます。

①の地図は、日本が中心にありません。普段日本で使われている世界地図は、日本が中心になっているものが多いのですが、「極東の国」といわれるように、ほかの国では日本が右端になっている地図が多く使われています。これをきっかけに、世界で使われている様々な地図を調べてみるのもおもしろいでしょう。

P.9 さまざまなラオス

ラオスについてはほとんど知識がない人が多い中、ちょっと難しいプログラムかもしれませんが、正解を出すことがねらいではありません。カードを読んで答えを考えるプロセスの中で、ラオス全体をざっくりと、でも一面的ではなく多面的に知ることが目的です。ここに掲載している県以外の県について、調べ学習で調べてみるのもおもしろいでしょう。

P.11 ラオスの民族衣装と文様

民族衣装については視覚的にも美しく、楽しく取り組めるプログラムでしょう。衣装のデザインについては、塗り絵感覚で楽しみましょう。できあがったら、みんなでファッションショーをしてみても楽しいかもしれません。本書で紹介した他にもさまざまな民族衣装がありますので調べてみるのもおもしろいと思います。また、日本の伝統的な着物と比べてみるのも楽しいかもしれません。

P.13 ラオスの学校！ウソ？ホント？

カードをバラバラに切り離してグループで「ウソ」と「ホント」に分ける作業をしますが、場合によっては、裏紙などで「ウソ」カードと「ホント」カードを作り、個人またはグループで掲げてもらっても楽しいかもしれません。また、調べ学習などと組み合わせ、参加者にクイズを作ってもらい、お互いにクイズを出し合うのもおもしろいでしょう。

さらに第3章の「プーさんのある1日」につなげると、地球における教育の問題について考えるきっかけになると思います。

P.15 ラオスの人が大切にしていること・守りたいもの

途上国というとかく課題面が注目されがちですが、ここではラオスの人々の日常生活に根づいている心の豊かさに触れ、自分たちの生活を見直すことができると思います。「ラオスの学校！ウソ？ホント？」と同じように、クイズ形式でプログラムを行った後、感想を聞いたり、日本ではどうなのか？という質問を投げかけるといいでしょう。

第2章 へえ～！ラオスと日本

P.19 ラオスと日本のつながり ウソ？ホント？

このプログラムもカードのクイズ形式です。「ラオスの学校！ウソ？ホント？」「ラオスの人が大切にしていること・守りたいもの」のカードとあわせて行ってもおもしろいですね。ここでは、ラオスを身近に感じてもらうことがねらいです。

P.21 ラオスと日本のお祭り

このプログラムも日本との共通点を見つけてラオスに親近感を持つと同時に、ラオス独自の伝統などに触れることによって、ラオスに興味関心を持ってもらうことが目的です。地域のお祭りについて調べるプログラムを盛り込んでみましょう。また、バーシーの儀式はおもしろいので、実際にやってみてもいいかもしれません。

P.23 ラオスも日本もお米を食べます

P.23をコピーして配布し、料理と料理名を線で結ぶプログラムです。実際に料理を作って食べてみる事ができれば、なお盛り上がります。昆虫食については「気持ち悪い」というイメージで終わらないよう、日本にもそうした料理があることを必ず伝えましょう。

P.25 ある！？ない！？

「ある・ないカード」を掲げるとき大きな声を出してもらおうなど、楽しい雰囲気をつくりながらプログラムをすすめましょう。他にもラオスと日本の似ているものを探してみてもいいかもしれません。

第3章 一緒に考えよう！こんな課題

P.29 プーさんのある一日

どこの国でも教育の問題はとても重要です。日本では当たり前のように子どもたちは学校に行きますが、それは必ずしも当たり前でないということに気づきましょう。プーさんが10歳で小学校に入学したことに注意を促してください。また、課題としてだけ捉えるのではなく、プーさんがとてもよく家のお手伝いをしていることにも気づいてもらい、自分の日常生活をふりかえりましょう。

P.31 ラオスに残る不発弾～平和って何だろう？～

戦争や紛争がいかに人々に多くの傷跡を残すかを感じるプログラムです。日本が平和かどうか...についてはいろいろな考え方があると思います。どんな意見であってもいいと思いますが、例えば「いじめ」がある環境は平和かどうか、その原因は突き詰めると戦争や紛争の原因と共通していないか...などを考え、「戦争や紛争」「平和」の問題はわたしたちにとってまったく無関係のことではないことに気づけるといいでしょう。②の資料は、参加者によっては読むのがむずかしいかもしれませんが、参加者にあわせてアレンジしてください。

第4章 そして未来へ

P.35 「多文化共生社会」ってどんな社会？ / P.36 号外！号外！20年後の新聞です

導入としてもまとめとしても使えるプログラムです。どんな未来を目指して自分たちが生活していくのか考えるきっかけにしてください。いずれのプログラムも正解はありませんが、P.37の資料を参考に補足説明をしてください。

その他いろいろ

国際交流は楽しいものです。プログラムも楽しい雰囲気が進められるよう参加者に合わせた進め方にアレンジしてください。

プログラムは単独でも組み合わせても使えます。参加型のプログラムと情報提供の時間をうまく組み合わせましょう。例えば、第1章のプログラムをした後に留学生や青年海外協力隊OB / OGなどのお話を伺うと、より楽しくわかりやすいと思います。

4～6人のグループで行うとアイデアが出やすく、場も盛り上がります。ただ、流れや状況に応じて、個人作業や全員での作業を交えながらメリハリをつけるといいでしょう。

各プログラムの最後に「気づいたこと、わかったこと、感じたこと」などを聞くふりかえりの時間をとると、より理解が深まり、記憶に残りやすいでしょう。

P.43に参考文献、出典などを掲載しています。特にデータについては、最新のものを使っていた方がいいと思います。

ラオス以外の国の教材も作成しています（P.5）。同じテーマを扱っている国もありますので、組み合わせるとおもしろいかもしれません。例えば、料理や学校の様子などはいろいろな国のものを合わせて比較すると楽しいですね！

慣れてきたら、グループごとに国を決めて子どもたちがファシリテーター役でプログラムを進めるのもおもしろいかもしれません。

なぜラオス人民民主共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、ラオス人民民主共和国のホームシティは、田原市でした。



イタリア共和国
オランダ王国
ベルギー王国
フランス共和国
ポルトガル共和国
モロッコ王国
社会主義人民共和国
リビアアラブ国
セネガル共和国
ベナン共和国
カメルーン共和国
ガボン共和国
南アフリカ共和国
ウズベキスタン共和国
ボスニア・ヘルツェゴビナ
キルギス共和国
モンゴル国
大韓民国
バキスタン・イスラム共和国
ラオス人民民主共和国
カンボジア王国
アゼルバイジャン共和国
イラン・イスラム共和国
サウジアラビア王国
エジプト・アラブ共和国
ケニア共和国
チャド共和国
キリバス共和国
エルサルバドル共和国
パナマ共和国
ボリビア共和国
フィジー諸島共和国
ニュージーランド
ドミニカ共和国

- : 本教材
- : 2008年度教材作成の国
- : 2007年度教材作成の国
- : 愛知万博公式参加国

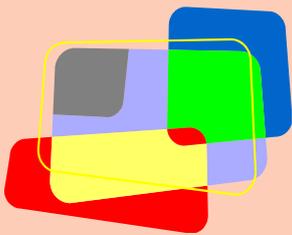
愛知万博 / ラオス館



第1章

ラオスってどんな国？

= 伝統を守り続ける癒しの国 =



クイズ100人に聞きました!

① ところで、みなさんはラオス人民民主共和国のこと、どのくらい知っていますか?

1 下の地図でラオス人民民主共和国はどこでしょう? この辺だと思ふところに印をつけよう。



2 ラオスについての質問です。正しいと思う答えを選んでみましょう。いくつわかるかな?

A ラオスは田原市と比べて暑い?

- ① ラオスの方が暑い ② ラオスも田原市も同じくらい ③ 田原市の方が暑い

B ラオスは田原市と比べて雨が多い?

- ① ラオスの方が多い ② ラオスも田原市も同じくらい ③ 田原市の方が多い

C ラオスも田原市と同じように海に囲まれている?

- ① 海に囲まれている ② 海に囲まれていない ③ 海に囲まれていないが一部海と接している

D ラオスにも日本と同じようにお正月行事がある?

- ① ある ② ない ③ わからない

E ラオスにも盆踊りのようなみんなで踊る伝統がある?

- ① ある ② ない ③ わからない

F ラオスの小学校にも給食はある?

- ① ある ② 希望者のみある ③ ない

G ラオスでも主食はお米?

- ① 主食はお米 ② 主食はパン ③ 主食は麺

H ラオスにも1000円札のような紙幣や100円玉のような硬貨がある?

- ① 紙幣も硬貨もある ② 紙幣のみある ③ 硬貨のみある



ラオスの紙幣は、全部で8種類です(100キープ、500キープ、1,000キープ、2,000キープ、5,000キープ、10,000キープ、20,000キープ)。その中の10,000キープには、民族衣装を着用した部族(ヤオ族、ラオトゥン族、ラオ族)の女性像が見られます。なお、硬貨はありません。

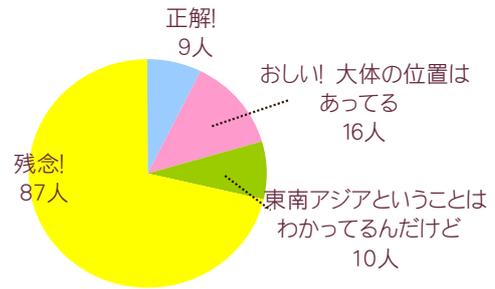


同じ質問を田原市の小学生110人に聞いた結果は次のようになりました。



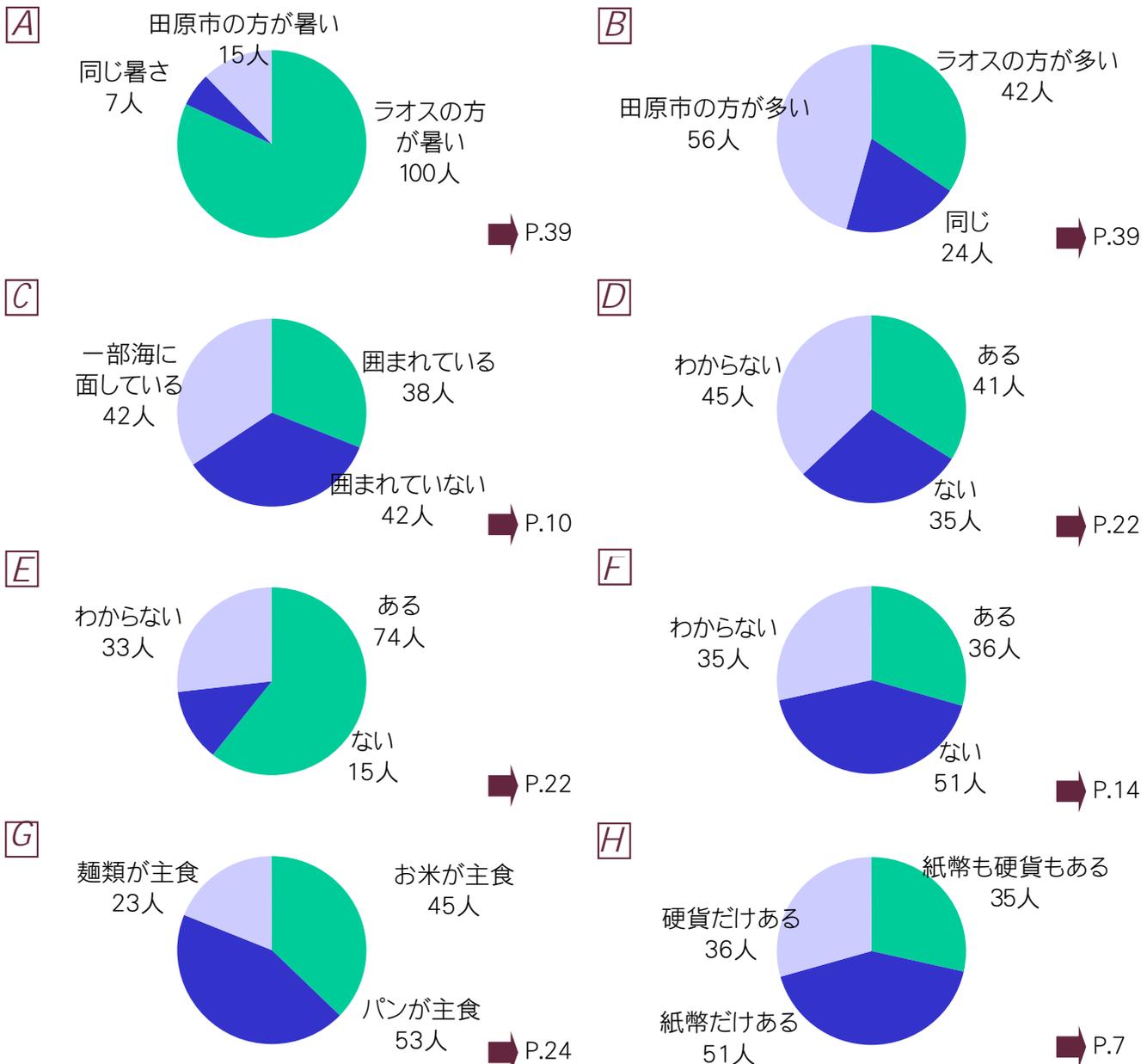
まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

ラオス人民民主共和国はどこ？



この地域は、たくさん国があってわかりにくいですね。小学生なのに9人も正解したなんてスバラシイ!!

ラオスのこと、どのくらい知ってる？



ラオスは雨季と乾季に分かれます。雨季になると川は増水し、集落から離れた田んぼへは行き来できなくなる場所もでてきます。そこで、自分の田んぼの直ぐ隣に仮の家を建てて、稲刈り時期までそこで過ごすことがあります。

さまざまなラオス

① ラオスには16の県と首都「ビエンチャン特別市」があります。
次のカードは代表的な県を紹介したものです。それぞれこの県がP.41の白地図に貼ってみましょう。



① 東北部をベトナムと接しています。ラオスの旧首都です。町全体が1995年世界文化遺産に登録されています。



② タイと接しています。ラオスの外貨を稼ぐ電力を作る「ナムグムダム」があります。



③ ラオスの首都です。メコン川を越えるとタイです。ここには、国民の尊敬を集めている仏塔「タート・ルアン」があります。



④ 西部をタイとの国境に接し、南部をカンボジアと接しています。ラオスでは2番目に世界遺産として登録されたワットプー（古代クメール寺院）があります。



⑤ 中国、ミャンマーと接するラオス北部の県です。かつてはアメリカの特殊部隊が所在しましたが、現在では穏やかな伝統的な生活が営まれています。



⑥ ラオス南部にあります。県の東側にベトナム、西側にタイがあります。豊かな気候と火山性土地はコーヒーや果物などラオスの重要な輸出品を作り出しています。



⑦ ラオスの北部で、ベトナムとルアンパバン県に接しています。この県には、3000年以上前に造られたという巨大な石つぼが約300個もあるミステリーゾーン、ジャール平原があります。



⑧ ラオスの中間部に位置します。ベトナムとタイに接しています。ワットブラバート寺院には、巨大な仏足跡が祭られています。



⑨ ラオス南部にあり、ベトナムと接しています。この県の大多数は少数民族で古くからの伝統農業に従事しています。



③・⑤以外：ラオス国家観光庁駐日代表事務所 ③・⑤ 日本アセアンセンター
©ASEAN-Japan Centre



現在のラオスは、タイ系のラーオ族がメコン川流域に定住し、1353年ランサーン王国を建国したことから始まりますが、ランサーンというのは「百万頭の象」という意味です。今でも山奥では、象が物資運搬などに活躍しています。



P.9のこたえと解説です。



地方色豊かなラオス。さまざまな地域を通してラオスの概要をざっくりとつかみましょう。

1 ルアンパバン県

13世紀から16世紀までランサン王国の首都として栄えました。風光明媚な美しい町でルアンパバンの寺院は東南アジアで最も美しいと言われています。写真は1904年から1909年のシーサワンウォン王の時代に建設され王宮として使われていた建物で、現在は王宮博物館として王族の私物などが展示されています。

2 ビエンチャン県

写真はナムグム湖です。自然豊かな県で、鳥獣保護地区や山水画のような山々、タムチョン洞窟などがあります。

3 ビエンチャン特別市

写真はタート・ルアン仏塔です。1566年サイセタティラート王により建立され、1953年に再建されました。高さ45メートルのこの仏塔は、ラオス国民の心の象徴です。

4 チャンパサック県

植民地時代の建築物や古い寺院の遺跡など文化遺産を多く持つ県です。写真はワットプー・チャンパサック。ワットプーは、9世紀～13世紀カンボジアで栄えたクメール帝国のヒンドゥー様式の建造物です。歴史的、文化的重要性から世界遺産に登録されました。

5 ルアンナムタ県

この地域にはさまざまな少数民族が生活しています。また、90%以上を深い森林で覆われているナムター国立鳥獣保護区域もあり、エコツーリズムが盛んです。

6 サラワン県

県庁所在地のサラワン市は、インドシナ戦争の時代に破壊されてしまいました。現在は、計画的な土地開発のもとで修復されています。この県にあるポロベン高原は農業生産の重要な基地となっており、コーヒーや果物を始めとした主要輸出品を作り出しています。

7 シェンクアン県

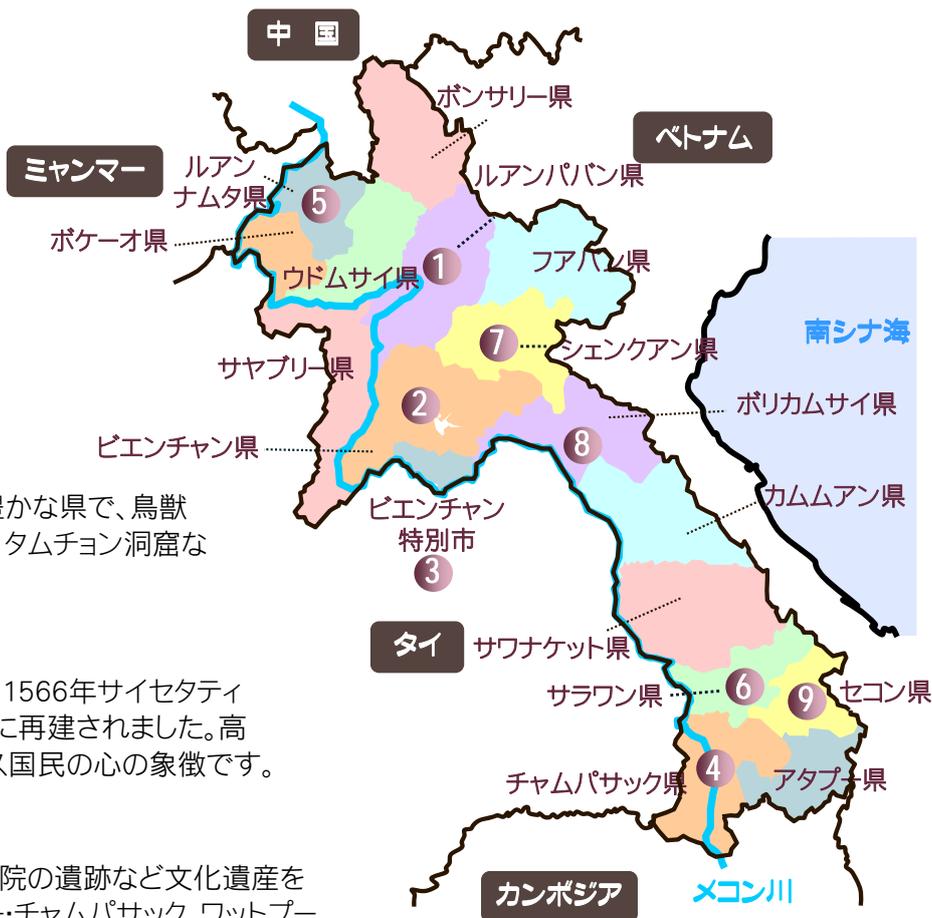
ミステリアスなジャール平原、温泉などがあり、少数民族が自然と一体となったシンプルな生活を過ごしています。ジャール平原の石つぼは、「酒つぼ」「米の貯蔵用」「石棺」という3つの説がありますが、何のために作られたのか謎です。この地域は、1964年～1973年のベトナム戦争で最も多くの爆撃を受けました。日本のNGOが不発弾処理に貢献しています。

8 ボリカムサイ県

石灰岩の尖塔柱が何千とあります。中国の南部にある有名な「石林」をしのばせます。

9 セコン県

セコン川沿いの谷間には棚田と果樹園がパッチワークのように広がっています。人跡未踏の豊かな熱帯雨林や希少動植物が有名ですが、インドシナ戦争の激戦地でもあり、不発弾が多く散らばっています。



ラオスには、「ワット」がつく建物が多いのですが、「ワット」は「寺」という意味。例えば、ワットプーは、ワット=寺、プー=山で、直訳すると「山寺」なのです。

ラオスの民族衣装と文様

① ラオスは50以上の民族から構成される多民族国家です。そしてそれぞれがユニークな民族衣装を持っています。

- 1 まずはラオスの民族についての概要を聞いてください。(→P.12「ラオスの少数民族と民族衣装」)
- 2 ラオスの人々が身につけたり暮らしの中で使う衣服には、いろいろな意味を込めて図案化された実在または架空の動物、植物が見られます。では、次の文様はどのような意味が込められているでしょうか？
下から選んでください。

A ナガ(龍)



B ガルーダ(とり)



C サル



D 神獣



E 寺院



F 鍵



G カエル



H 星



I シーホ(象ライオン)



J スピリッツ(靈魂)



K 人と馬



L 花



慈愛



パワー



先祖
供養



子孫
繁栄



安寧
(平和)



豊かさ



魔よけ



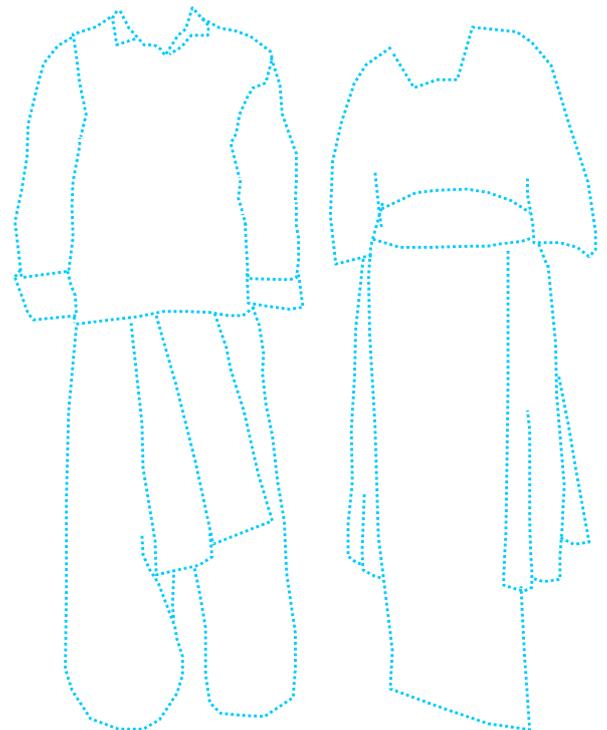
長寿



神様に
関すること



幸運



- 3 では、ラオスの民族衣装はどんな衣装が想像し、文様を参考にして右のパターンにデザインしてみましよう。



ラオスは多くの民族で成り立っていますが、ラオ族が人口の約半分を占めます。残りの半分が「少数民族」と呼ばれる人たちなのです。



ラオスの少数民族と民族衣装

ラオスは様々な民族から構成されていますが、ラオス政府は住む場所によって大きく3つのグループに分けています。

グループ		主な民族
高地ラオ (ラオ・スゥーン) <800~900m以上に住む>	主にラオス北部の山岳地帯で生活する民族グループ。普段から民族衣装を身に着けています。	モン族・ヤオ族・レンテン族・アカ族
中腹地ラオ (ラオ・トゥン) <300~900mに住む>	カムウ族を除いて、主にラオス南部に住んでいるクメール系民族グループ。独自の言語、習慣を強く持っています。	ラオトゥン族・タリアン族・カムウ族
低地ラオ (ラオ・ルウム) <400m以下に住む>	もともとは川のほとりに住む民族グループ。水田を作り、よく水浴びをします。普通ラオス人という、このグループに含まれるラオ族を指します。	タイデン族・タイダム族・タイムー族・ルー族・ラオ族

ラオスの文様 (P.11のこたえ)

ラオスの人々が、毎日身につける衣服や暮らしの中で使う布、例えば筒スカート(シン)、ショール(パーピアン)、ねんねこ、ブランケット、袋、肘掛け、クッションなどにこれらの文様が使われます。織り手、または着用する人に幸運を招くまたは身を守ると信じられています。

- A** 神様に
関すること **ナガ(龍)**
...メコン川を象徴する水神
- B** 神様に
関すること **ガルーダ(とり)**
...ヒンズー教の神鳥
- C** 神様に
関すること **サル**
...ヒンズー教の神の遣い
- D** 神様に
関すること **神獣**
...守護神
- E** 神様に
関すること **寺院**
...信仰心の象徴
- F** 安寧
(平和) **鍵**
...安寧(中国の影響)
- G** 豊かさ **カエル**
...水田 豊作
- H** 豊かさ **子孫
繁栄** **星**
...豊穰 子孫繁栄
- I** 慈愛 神様に
関すること **シーホ(象ライオン)**
...タイ族の守護神 慈愛
- J** 先祖
供養 **スピリッツ(靈魂)**
...先祖 靈魂 供養
- K** 魔よけ **パワー** **人と馬**
...パワー 魔よけ
- L** 豊かさ **幸運** **花**
...豊穰 幸運

★文様をいろいろ組み合わせて生地を織ります。



3 → P.17 ラオスの民族衣装ギャラリー



ルアンパバーンでは、毎日ナイトマーケットが開かれ、外国人観光客でにぎわいます。出店するのはほとんどがモン族の人たちで、伝統的なデザインをモチーフにした民芸品などが売られています。

ラオスの学校！ウソ？ホント？

① 次のカードは、ラオスの学校について書かれたものですが、さてさて、ウソ？ホント？



① ラオスの学校制は日本と同じです。小学校6年、中学校3年、高等学校3年の6・3・3制です。



② ラオスでは、小学校でも進級テストがあり、落第制度があります。



③ ラオスの就学年齢は6歳です。しかし、家庭の事情によっては6歳以上でも就学できます。



④ ラオスには、小さな村や地区に1つづらいつ小学校があります。教室は全部で5つというのが標準的です。



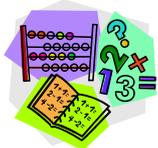
⑤ 授業時間は朝8時に始まり、7時間目まであります。授業が終わって下校するのは4時30分です。



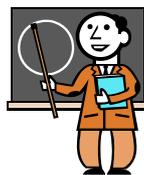
⑥ ラオスでは、原則として給食はありません。



⑦ ラオスの小学校は義務教育なので、もちろん先生を含め生徒全員に教科書や勉強のための道具が配布されます。



⑧ ラオスでは毎年10月、「教師の日」があり、祝日です。



⑨ ラオスでは、小学校から高校まで制服がありますが、生徒だけでなく、先生も制服があります。





P.13のこたえと解説です。



ラオスの学校は日本の学校と比べてどう違う？
学校を通してラオスの子どもたちの生活に触れましょう。

1 **ウソ** ラオスの学校制度は、小学校5年間（義務教育）、中学校3年間、高等学校3年間です。小学校以外には義務教育でないため、中学校、高等学校へ進学する子どもは少なくなります。その一番の理由は、家の手伝いをしなければいけないということです。そのため、学校へ行けなくなるのです。

2 **ホント** 小学校でも進級テストがあり、落第制度もあります。しかし、チャレンジ制度があり、先生のサポートを受けながら、進級テストに合格すれば、復帰できます。

3 **ホント** ラオスの就学開始年齢は6歳ですが、6歳以上でも就学できます。6歳以上であれば、就学について年齢制限はありません。



4 **ホント** 山間部では、3年生までしかない小学校も多くあります。地方の学校では生徒が多すぎたり、教室が少なすぎたりして、2部制を行っているところもあります。

5 **ホント** 授業は、1時間単位で区切られています。50分授業、10分休憩となります。月曜日には朝礼が行われます。8時に全校生徒が集まり、ラオスの国歌を斉唱し、国旗掲揚をします。その後、校長先生の話をお聞きします。



6 **ホント** 日本のような給食制度はありません。お昼は、家に帰って食べて学校に戻るか、お弁当を持ってくるか、学校の売店で買って食べるかのいずれかです。どこの学校にも、駄菓子屋のような小さなお店があり、朝登校するときから下校するときまで開いています。

7 **ウソ** ラオスでは、義務教育といえども、教科書や勉強のための道具は生徒や先生に充分に行き渡っていません。兄弟や近所の人から譲り受けたり、学校から借りたりします。

8 **ホント** ラオスでは、10月7日が「教師の日」です。どの学校（小学校・中学校・高校・大学）でも、その前後の数日がお休みとなります。その期間の1日、どこの学校でも「教師の日」のイベントがあります。この日には、先生に感謝の気持ちを込めてプレゼントをする習慣があります。たくさんのお花やきれいな包装紙に包まれたクッキー、ケーキ、石鹸、歯磨き粉などをプレゼントします。

9 **ホント** ラオスでは、小学校から高校まで制服があります。上着は男女とも白いワイシャツを着ます。男子生徒は黒の長ズボン、女子生徒はラオスの民族衣装である「シン」という巻きスカートを着用します。学生は黒いシンを着ますが、その裾の部分には何色かの模様が織り込まれています。また、先生にも制服があります。女性の先生はシンを、男性の先生は一般に作業衣のような薄いカーキ色の上下を着ます。両方の襟に先生の証である教育省のバッジをつけます。



(→P.30)



小学校は6歳で入学ですが、ラオスには戸籍がないため、片手を上にあげ、頭に沿って手を曲げて耳をつかむことができれば入学が許可されます。

ラオスの人が大切にしていること・守りたいもの

① 次に書かれていることは、ラオスの人たちが大切に守っていることですが、ウソ? ホント?



① ラオスでよく使われることばのひとつに「ピーノーカン」というのがあります。これは「親戚同士」という意味です。



② ラオスの人たちは初対面であっても相手の年齢や家庭について当然のように聞いてきます。



③ ラオスの人たちも挨拶をするとき、日本人と同じように頭を下げ、おじぎをします。



④ ラオスでは、子どもの頭を撫でることは女性のみ許されています。



⑤ ラオスでは、日本と同じように、家へ上がる時、靴を脱ぎます。



⑥ ラオスでは、イスに座っている人の前を通るときは、かがんで歩きます。



⑦ ラオスでは、人を呼ぶとき、できるだけ大きな声で呼びます。



⑧ 外国人がラオスで、子どもにプレゼントをするときは、子どもが礼儀を学べるよう、必ず子どもに直接渡します。



日差しが強いラオスでは、日差しを避けるために日傘(日本のものと比べると少し小型)を日中使います。また、オシャレとしても使います。



P.15のこたえと解説です。



ラオスの人々が大切にしていることから
ラオスの心の豊かさを学びましょう。

- 1 **ホント** ラオスでは、行く先々で人々のつながりができ、血のつながりがなくても娘になったり、父親になったりします。あそこへ行けばあのお父さん、ここへ行けばあの妹に会える...という関係ができ、その関係によって、またそこを訪問しようという気持ちになれるのです。ラオスの人々の他人に対する暖かい心、心優しさ、人と人とのつながりの深さを表すことばなのです。
- 2 **ホント** ラオスでは、失礼にならないよう相手の年齢や家庭のことを尋ねます。年齢を聞くのは、自分より年齢が上の人に対して敬意を表するためです。年上の男性には「〇〇アーイ(お兄さん)」、女性には「〇〇ウアーイ(お姉さん)」と敬称をつけて呼びます。また、ラオスの人々は家族をとっても大切にします。友人の家族に対しても、常に思いやる気持ちを忘れません。そのため、家族構成を聞くのです。
- 3 **ウン** ラオスの人たちは、挨拶をするとき、両手を胸の前にあわせ、軽く頭を下げます。これを「ワイ(イップ)」と言います。男性は、握手をする場合もあります。
- 4 **ウン** ラオスでは「頭に精霊が宿る」とされているので、男性でも女性でも、頭をなでることはいけません。特に、手は不浄(よごれている)とされているので、子どもの頭をなでたり、たたいたりすると、精霊が汚され、子どもが病気になると言われています。
- 5 **ホント** ラオス人も家では靴を脱ぎます。ラオスの家庭に招かれたら、靴を脱ぎましょう。
- 6 **ホント** ラオスでは、頭は神聖、足は不浄と言われています。イスに座っている人の前を通るときは、屈んで歩き、前にいる人をまたいだりしないようにしましょう。
- 7 **ウン** ラオス人は穏やかに話をします。叫んだり、大声をあげたり、威嚇的に話すことはよいとされていません。
- 8 **ウン** 外国人が子どもにプレゼントを渡すときは、直接渡さず、村の長老などに渡すようにしましょう。これは、物乞いを奨励しないためです。



「DO'S & DON'S IN LAOS」ラオス国家観光庁

「豊かな」国ラオス

ラオスは、豊富な資源に恵まれ、食糧も自給を達成し、所得は低い、飢えている人たちの少ない社会です。農村地帯の約70%の世帯が土地を所有し、土地を所有しない世帯でも、その大半は土地を借りて、農業に従事しています。ラオスは、食糧が自給できる豊かな国なのです。



仏教国ラオスの朝の風物詩ともいえるのが托鉢。毎朝6時から7時ごろ、オレンジ色の袈裟に身を包んだ僧侶が一列に並んで歩きながら、通りで待っている人々からもち米などを受け取ります。



ラオスの民族衣装ギャラリー



ラオス国家観光庁
駐日代表事務所

モン族

カラフルな刺繍やアフリケか施された衣装やバッグ類、麻藍口ウケツ染めのプリーツスカートなどが有名。

ラオウン族

しっかりしたコットンの赤と黒を貴重にした経錦織(たてにしきおり)が特徴。ビーズと一緒に織り込まれているものもある。



『ラオスの布を楽しむ』



ヤオ族

刺繍が得意。普通の刺繍は、表と裏の形が異なるが、ヤオ族の刺繍は表も裏もまったく同じ文様。ヤオ族は刺繍以外の布仕事はほとんどしない。布は他の民族と物々交換する。

アカ族

ほとんどの女性が1日中(寝るときも)シルバーの帽子をかぶっている。シルバーは彼らの財産であると同時に魔よけと信じられてきた。



ラオス国家観光庁
駐日代表事務所

タイダム族

「ダム」は黒という意味。濃い藍染によるコットン布をベースに色鮮やかな刺繍や浮織を施す。ブラウスの前ボタンもタイダム族のトレードマーク。



ラオ族

写真は婚礼用正装。ラオスの人口の半数を占めるラオ族。「パー・ピアノ(肩にかけるショール)」と「シン(筒スカート)」というラオスの基本的な装いは、ラオ族の装いなのです。



『ラオスの布を楽しむ』



『ラオスの布を楽しむ』



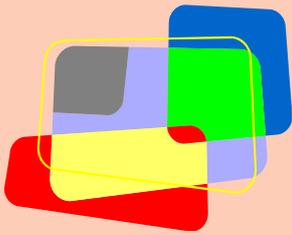
『ラオスの布を楽しむ』チャンタソン・インタヴォン著 (アートダイジェスト出版)



『ラオスの布を楽しむ』

 第2章

へえ～！ラオスと日本



ラオスと日本のつながり ウソ？ホント？

❓ ラオスと日本は無関係...ではありません。いろいろつながりがあるのです。
では、次のカードに書かれたことはウソ？ホント？



① 首都ビエンチャン特別市に所在するワッタイ国際空港は、日本の援助によって建設された国際空港です。



② ラオスには、田原市の資金協力により建設された教育事務所があります。



③ 2008年現在、日本人がラオスに出入国するときは、どんな場合もビザが必要です。



④ 近世初頭のラオス在住の日本人指導者として山田長政が活躍し、その功績を称えて、ラオスに銅像が建っています。



⑤ JICAの青年海外協力隊の第1回目派遣は1965年(昭和40年)ラオスへの派遣でした。



⑥ ラオスの警察の電話番号は、日本と同じ110番です。



⑦ ラオスでは、備長炭がつくられており、日本にも輸出されています。



⑧ ラオスには、「日本センター」があります。



⑨ 農業の勉強をするため、ラオスの研修生が田原市に来たことがあります。



ラオスで見かけるトゥクトゥク(→P.27)は、バイクなどを改造したオート3輪車です。料金表が車の中に貼ってありますが、値段はあってないようなもの。運転手との交渉で決まります。



P.19のこたえと解説です。



ラオスと日本とのつながりを通して、わたしたちがいろいろな国につながっていることに気づきましょう。

1

ホント

ワットタイ国際空港は、日本のODA(政府開発援助)で建てられました。その記念碑が空港の前にあります。また、メコン川にかけられた橋も同様に日本のODAで建てられました。その他、ワット・プー遺跡を保護・保存するための無償協力をするなど日本は様々な支援を行っています。



空港の記念碑

2

ホント

事務所の前には、右のような看板が建っています。愛知万博を契機に、田原市とビエンチャン特別市サイタニー郡とのお付き合いが始まりました。ラオスの「人づくり」に協力するため、田原市が建築資金を提供し、資金不足のため完成しないままだった「サイタニー郡教育事務所」が完成しました。



教育委員会事務所と看板

3

ウソ

日本人については2008年1月より、観光・業務目的で15日以内の滞在に限り、ビザが不要となりました。(ただし、パスポートの残存有効期限が入国時に6ヶ月以上あること、パスポートの余白が2ページ以上あることなどが条件となっています。)

4

ウソ

山田長政は、実在の人物で近世初頭のシャム(タイ国)在住の日本人指導者です。山田長政はその才幹を認められ、日本人町の首長となりました。

5

ホント

青年海外協力隊は、自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたいという青年を現地に派遣するJICA(独立行政法人国際協力機構)の事業です。1965年(昭和40年)のラオス派遣が第1回目で、その後アジア、アフリカ、中近東、中南米等これまで70数カ国へ2300人以上の隊員が派遣され、活躍しています。

	ラオス	日本
警察	191	110
消防	190	119
救急車	195	119

6

ウソ

緊急時の連絡番号は右のとおりです。

7

ホント

「羅宇(ラオス)備長炭」といって、火力が強く、燃焼時間が長い良質な炭です。作り方、リサイクルの仕方など、日本がその技術を伝えました。今では日本に輸出されています。



羅宇備長炭

8

ホント

正式には、「ラオス・日本人材開発センター(通称ラオス日本センター)」といい、2001年ラオス国立大学キャンパス内に、日本の政府開発援助により設立されました。日本語やビジネス経営の知識を学ぶとともに、文化交流事業なども行われており、ラオスと日本の相互理解をめざしています。



9

ホント

2008年と2009年にビエンチャン特別市サイタニー郡農林事務所の職員が、バラの栽培を学ぶため田原市を訪問しました。田原市の農業は全国でトップクラスです。研修生は、地元のバラ農家の協力・指導を受けて、市の先進的な技術を学びました。2009年には、サイタニー郡でバラの栽培が始まりました。



バラの試植

日本とラオスの関係

1955年3月に日本とラオスの間で外交関係が樹立され、2005年には、日本とラオスとの外交関係樹立50周年を迎えました。日本の青年海外協力隊が初めて海外に派遣されたのはラオスで、1965年のことです。現在日本は、ラオスへの支援額が一番多い国となっています。



ラオスの重要な輸出産業は、木材加工品、水力発電による売電、そしてコーヒーです。

ラオスと日本のお祭り

① ラオスには「ブン」と呼ばれる、生活習慣に根付いた伝統的な楽しいお祭りが年間を通してあります。ラオスのお祭りとお祭り比べてみましょう。

1 下の写真は、ラオスのお祭りにまつわる写真です。どんなお祭りでしょう？ 写真から想像してみましょう。

A



B



C



D



📷 ラオス国家観光庁駐日代表事務所

2 日本にも似たお祭りがありますか？日本のお祭りの中で、みなさんが好きなお祭りはどんなお祭りですか？

3 さて、日本のお祭りとラオスのお祭り、比べてみてどうですか？ 似てますか？ 違いますか？感想をみんなで話し合ってみましょう。



ラオスも日本も花火は火薬を使います。日本では打ち上げ花火は、尺球です。空に打ち上げられ、大輪の花、しだれなど複雑、多様な模様が見られますが、ラオスでは、雨乞い用のロケットを各グループが打ち上げます。



P.21のこたえと解説です。



ラオスの文化や生活に関係のあるお祭りを通して、ラオスの人々の日常生活に触れましょう。

A プン・カオパンサー(入安居) プン・オークパンサー(出安居)

7月21日にカオパンサー、10月17日・18日にオークパンサーが行われます。この間の雨季にあたる3ヶ月間は「安居期」といい、僧は祈りと瞑想で過ごします。3ヶ月間の修行(カオパンサー)を終えたことを祝う祭りがオークパンサーです。10月17日の夜明けとともに、托鉢と寄進が町中で行われます。夜には口ウソク行列が寺院で行われ、花やお香、灯籠が川の精霊に捧げられるため、メコン川へ流されます。翌日にはボートレースが行われます。



カオパンサー

ラオス国家官公庁
駐日代表事務所



聖水を注ぎかけるところ

B ピーマイ(ラオスのお正月)

ラオスのお正月は4月中旬です。お正月には、寺の仏像を信者たちが運び出し、香料の入った水で清めます。仏像を清めた後の聖水は、集めてそれぞれ持ち帰り、家族や友人、親戚に注ぎかけてお祝いします。それとは別に「水かけ」をして、旧年中の悪いものを洗い流します。また、お正月には、写真の3体が町を練り歩きます。父方の祖父ブーニューと父方の祖母ニャーニュー、そして中国から養子にきたシンカップ・シンコンです。その昔、地上は空を覆い隠すほどの大木があり、真っ暗な世界でした。もともと天界で暮らしていた3人が地上に降りてきて、自分たちの命と引き換えに、大木を切り倒しました。そのおかげで地上が明るくなったと言われています。

その他お正月には、各民族のパレードや象のパレード、美人コンテストなども行われます。行事の最後には、集団舞踏が行われます。



水かけ

日本アセアンセンター
◎ASEAN-Japan Centre



ラオス国家官公庁
駐日代表事務所

C カオクラン祭り(豊年祭)

サワケット県ソンコン郡で行われる豊年祭で、土地からの恵を祈念して「バーシー」の儀式が行われます。

「バーシー」は出発、出産、結婚、送別、新築、新年など、人生の節目に行われる儀式です。

D パンファイ祭り(ロケット祭り)

5月中旬に始まり、各村で次々に行われる雨乞いのお祭りです。朝、雨を祈る儀式を寺院で行い、午後は野原に集まって、にぎやかに祝いながら村、地域のグループでロケットを打ち上げ、それぞれの「飾りつけ」と「打ち上げの高さ」を競い合います。



バーシー

ラオスの「ブン」と日本の「祭り」

ラオスは農業国です。年間を通じて行われるお祭り(ブン)のほとんどが、仏教と農業に関係があります。お祭りは仏教の太陰暦により運営されます。なお、現在日本で使っている暦は太陽暦(365日)、ラオスでは太陰暦(354日)です。ラオスの代表的なお祭りとしては、上記以外に2月に行われるカオチー祭り(万仏節・もち米で作られたパンを備えます)や地域の仏塔や寺院などで行われるシコータボン祭り(カムムアン県)、ワットープー祭り(チャムパサック県)、タートルアン祭り、タットインハン祭り(サワナケット県)、日本のお盆にあたるカオパダップディン祭りなどがあります。

日本はとてもお祭りの多い国で、豊作や大漁を願うもの、健康や家内安全を祈るもの、町おこし...などさまざまなお祭りがありますが、もともとのお祭りは、宗教的儀式でした。昔の人たちは、神様が常に神殿にいるのではなく普段は山や海にいて必要なときに現れると考えていました。そのときに、神のそばにいて奉仕するという意味の「まつらふ」ということばが祭りの語源だと言われています。祭りのときにのぼりを立てるのは、神様に場所を伝えるためなのです。



バーシーの儀式では、祈祷師によるお祈りのあと、「あなたに幸せが訪れますように」などと言いながら、主役やお互いの手首に木綿の白い糸を巻きつけます。その糸は自然に切れるまではずしてはいけません。なぜなら、しあわせが切れてしまうから...

ラオスも日本もお米を食べます

① ラオスの人たちはどんな料理を食べているのでしょうか？

次の写真は、代表的なラオス料理の写真です。写真を見て、料理の名前をつないでみましょう。日本の料理と比べてどうですか？ 気づいたこと、感想をみんなで話し合ってみましょう。



1



A カオソーイ
(北部特産の麺)

2



B カオ・トム
(ちまき)

C ヤム・サラット
(野菜サラダ)

3



D ラープ
(香草入りひき肉サラダ)

E カオラーム
(竹筒入り蒸しおこわ)

4



F カイペン
(川海苔)

G カオ・ニャオ
(もち米)

5



H タムマークフン
(パイヤサラダ)

I ピンカイ
(焼き鳥)

6



7



8



9



②⑦以外すべて 日本アセアンセンター
©ASEAN-Japan Centre



ラオスの周りには、海がありません。タイとは、川が国境となっています。そのため、淡水魚は食べられていますが、マグロなど海の魚は食されていません。



- 1 **G** カオ・ニャオ(もち米を蒸したもの)
ラオスの主食となるもち米を蒸したもの。食卓には竹で編んだ籠(ティップカオ)に入れて出されます。右手でつまみ、手のひらで少し丸めます。中央に親指で“くぼみ”をつけて、親指とカオ・ニャオの間におかずをはさみ、いただきます。
- 2 **B** カオ・トム(ちまき)
生のもち米と一緒に豚肉とバナナの葉で包み、蒸した“ちまき”です。托鉢のときにもよく提供される家庭料理です。
- 3 **D** ラープ(香草入りひき肉サラダ)
肉を包丁でたたいてひき肉にします。その後、さっと熱を通して、ハーブやスパイスであえます。肉は鶏肉、牛肉、豚肉、魚などです。シンプルですが、お祝いの席には欠かせない、ラオスを代表する料理です。
- 4 **H** タムマークフン(パパイヤサラダ)
青いパパイヤを千切りにして調味料であえたサラダです。タイのソムタムと同じ料理です。パージークという魚の酢漬けが味わいのポイントと言われています。
- 5 **C** ヤム・サラット(野菜サラダ)
ラオスの野菜サラダです。ドレッシングがたっぷりかかっているのが特徴です。
- 6 **I** ピンカイ(焼き鳥)
タレをつけて焼いた焼き鳥です。ラオスの鶏肉はすべて「地鶏」なので、とてもジューシーです。
- 7 **F** カイペーン(川海苔)
メコン川などでとれる川海苔です。古都ルアンパバーンの特産品です。
- 8 **A** カオソーイ(北部特産の麺)
米から作った太麺に鶏や豚から取ったスープをかけたラオス北部の麺料理です。好みに辛い味噌を入れて味付けをします。
- 9 **E** カオラーム(竹筒入り蒸しおこわ)
もち米を竹の筒で蒸した料理です。ココナッツミルクを使いますので、ほのかな甘みがあります。

ラオス料理と日本料理

ラオスと日本に共通している料理のひとつに昆虫食があります。かつては、食料資源の乏しい地域において、重要なタンパク源として活用されてきましたが、その一方、美味だからこそ食文化に取り入れ、現在も続いていると思えます。

日本では、蜂の子(へボ)、イナゴ、蚕のサナギなどの昆虫食がありますが、ラオスでも蟻の子、セミやコオロギ等の幼虫の炒め物、揚げ物などがみられます。



ちょっぴりボケちゃいましたが、上に乗っているのはコオロギ...!



ある！？ない！？

① ラオスがどんな国なのか、ラオスの人たちがどんな生活をしているのか、ほとんど知らない私たち。実は日本と似ているものがたくさんあるんです。

- 1 A4の紙の表裏を使って「ある・ないカード」をつくりましょう。
例えば...

(表)



(裏)



- 2 では、今からみなさんに質問します。
ラオスにもあると思うか、ないと思うか、「ある・ないカード」を挙げてください。

A ジャンケン

日本では、いろいろな場面でジャンケンをしますよね。
さて、ラオスにはジャンケンがある？ ない？

B 竹馬

竹馬で遊んだことはありますか？
さて、ラオスには竹馬がある？ ない？

C なぞなぞ

みなさんは、なぞなぞで遊んだりしますか？
では、ラオスにはなぞなぞがある？ ない？

D 十二支

みなさんは、十二支を全部言えますか？ 今年は何年でしょう？
では、ラオスには十二支がある？ ない？

E 語順

ことばの順序の問題です。日本語では、動作を表す動詞は、文章の最後に来ますよね。例えば、「私はご飯を食べます。」と言うとき、「食べます」という動詞は最後に来ます。英語とは逆です。
では、ラオス語には、動詞が文章の最後に来るというルールはある？ ない？

F 紙すき

右のような中に花などが入っている紙を見たことがありますか？
和紙でつくられた葉書などでありますね。
では、ラオスにも同じような技術がある？ ない？



G はた織り

右の写真は何に使われる機械かわかりますか？
これは、はた織り機です。
では、はた織り機はラオスにもある？ ない？



『ラオスの布を楽しむ』

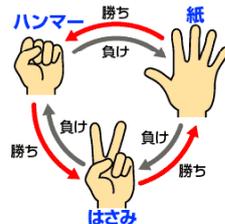


ラオスの最南部、カンボジア国境に近いメコン川には数千もの島々が点在します。その中の一つコーン島周辺には、体がピンク色がかった川イルカが生息しています。



A あるある!

ジャンケン
は日本だけでなく、世界中のいろいろなところで行われています。ラオスにもあります。ラオスでは、「ティーソム」という掛け声で、「ハンマー(カン・ムー)」「ハサミ(ミー・タツ)」「紙(チア)」で勝負します。ラオス式ジャンケンをやってみましょう!



B あるある!

ラオスにもあります。ラオスでは竹馬のことを「キーマイニョークヨーク」と言います。その他、「ケンケン(マークハイナー)」「ゴム跳び(テンヤーン)」「おはじき(タムケオ)」「羽根つき(ティビックカイ)」などもあります。ちなみに、ラオスでは、羽根つきは男の子の遊びです。

C あるある!

ラオスにもなぞなぞがあります。例えば...
「2車線の道路の片側に人、もう一方に犬が寝ています。さて、運転手は何を踏む?」 答えは?...ブレーキです。余談ですが、ラオスには犬が多く、そのほとんどが放し飼いにされているので、こうしたなぞなぞなどにもよく登場します。

D あるある!

ラオスでも十二支はあります。古代中国で考えられたものがアジアに伝わったと言われています。ただし、日本の「ひつじ」はラオスでは「やぎ」、日本の「いのしし」はラオスでは「ぶた」です。ももとの中国では「ひつじ」と「ぶた」を使っています。日本で「いのしし」が使われているのは、日本では「ぶた」は飼われず、ぶたを表す漢字「猪」を「いのしし」と読んだからだと言われています。また、当時、日本もラオスも農業が大切な産業で、農事暦を農民に教え、浸透させる便法として十二支が使われました。



ラオス

スワツ	サルー	カーン	トゥ	マ-イウク	マソグ	マミヤ	マメー	ウーウ	ラカー	ジョー	グン
ねずみ	うし	とら	うさぎ	たつ	へび	うま	やぎ ひつじ	さる	とり	いぬ	ぶた いのしし



日本

子 丑 寅 卯 辰 巳 午 羊 申 酉 戌 亥

E ない~!

ラオス語の語順は英語と同じです。したがって、「私、食べる、ご飯」となります。

F あるある!

ラオスにも同じ紙すきの技術があり、観光資源として重要な役割を果たしています。写真は、ラオス製の紙袋です。

G あるある!

ラオスにも同じ手織りの技術が受け継がれており、伝統的な筒スカート(シン)や肩掛け(パーピアン)などが編まれています。ラオスの家庭には、はた織り機が何台もあることも珍しくありません。





フォトギャラリー



メコン川に夕陽が落ちる



乾季のメコン川...水のあったところに屋台が立つ



パリ凱旋門をモデルにしたパトウサイ



町中に花があふれている...みんなの足、バイクにも
 米村花きコンサルタント事務所から借用



ビエンチャン市内



早朝のトゥクトゥク (P.19)



散策する牛の群れ

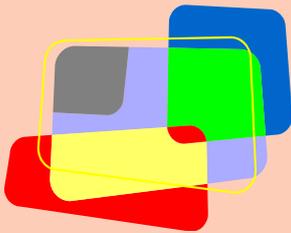


ビエンチャン市内



第3章

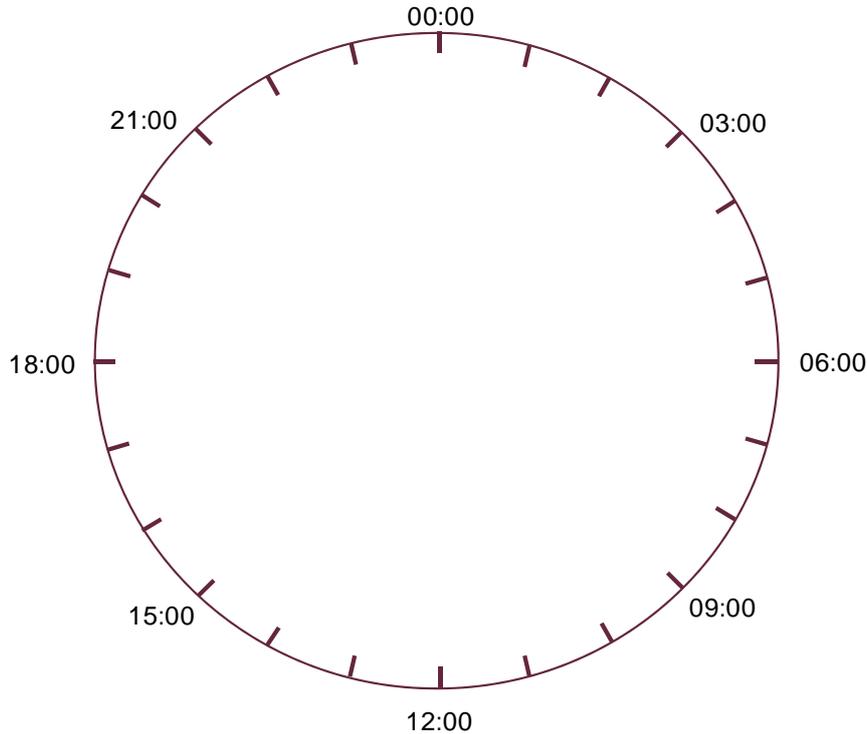
一緒に考えよう！こんな課題



プーさんのある一日

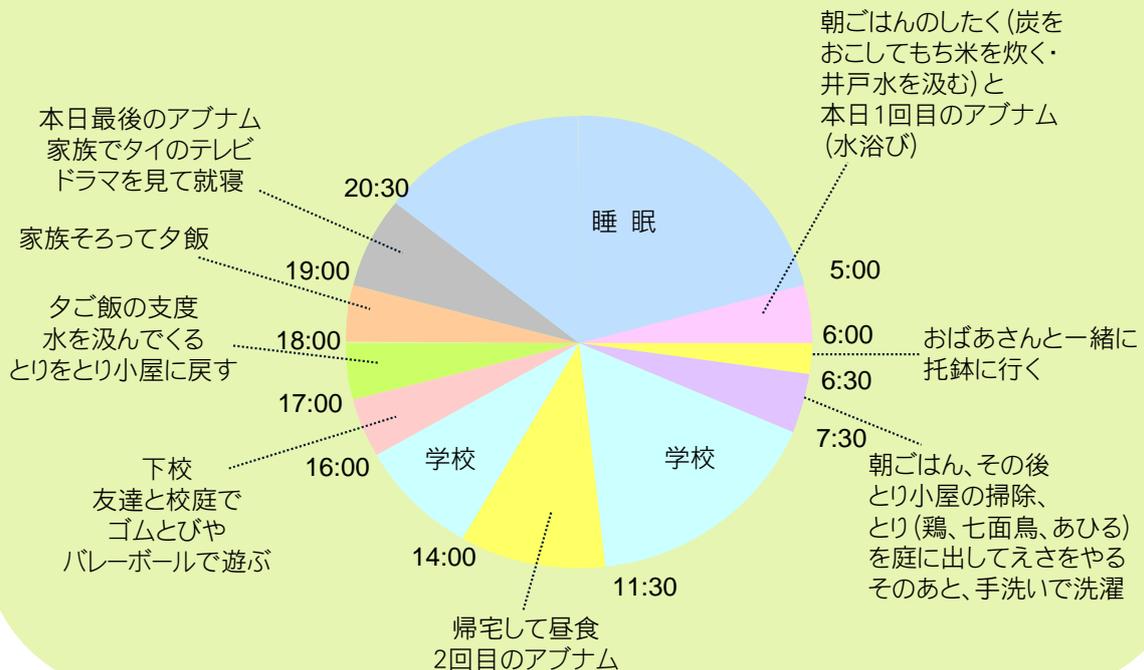
① みんなは毎日どんな生活をしていますか？

1 みんなの平均的な一日のタイムスケジュールを下の円グラフに書き込んでみましょう。



2 下の円グラフは、ラオスの小学生プーさんのある1日のスケジュールです。プーさんのスケジュールとみんなのスケジュール、比べてみてどうですか？ 似ているところはどこですか？ 違うところはどこですか？ 面白いと思ったことはありますか？ 感想を話し合ってみましょう。

わたしの名前はプー。今10歳だけれど
 去年やっと小学校に行くことができるようになったので、今は2年生。
 ビエンチャンに住んでいるのよ。
 わたしの1日のスケジュールはこんな感じかな...





ラオスの教育制度

ラオスの学校制度は5・3・3・5制で、義務教育は6歳～10歳(1学年～5学年)です。学校年度は9月1日から6月1日で、1学期(9月1日～1月31日)、2学期(2月1日～5月30日)の2学期制です。12月31日までに満6歳になる子どもは、その年の9月1日に第1学年に入学します。したがって、6歳前でも入学できる一方、10歳を超えて入学する場合もあります。授業は週5日制です。授業料は無料ですが、施設修繕費などを払わなければならない場合もあります。

授業はラオス語で行われ、教科はラオス語、算数、理科、社会、芸術、体育、音楽、工芸など。給食はありません。お昼ごはんは、お弁当を持ってきたり、食堂で買ったりして食べます。地域によっては、家に帰って食べることもあります。また、休み時間には、校内でおやつを買うこともできます。

地方の学校では制服のないところもありますが、ビエンチャン特別市の学校などでは制服が普及しています。男子の制服は白い半そでシャツと黒か紺色のパンツ。ラオス人民革命青年連合に所属する生徒は、シャツの左袖に青年連合のロゴと青いスカーフ(6歳～9歳)か、赤いスカーフ(9歳～16歳)をつけています。女子の制服は、白い半そでシャツと黒か紺色の「シン」(ラオスの伝統的な巻きスカート)。3年生までの生徒は、シンの代わりにプリーツスカートをはくこともできます。女子もラオス人民革命青年連合に所属する生徒は、シャツの左袖に青年連合のロゴと青か赤のスカーフをつけます。

現状と課題

就学年齢での入学率は84.2%ですが、義務教育ではない中等教育(中学校・高等学校)への入学率は、特に地方においてはまだまだ低いです。とはいえ、ビエンチャン特別市などの都市部では、教育熱が高まっており、高等教育に進む人も多くなっています。

ラオスでは教育予算が極めて少なく、適切な校舎がない、生徒数に対する教室の不足、教科書がない、教員の数および能力の不足、適切なトレーニングを受けていない無資格の教師の存在、教師への給与支払いの遅延、教育行政能力の不足などの課題があります。そのため、午前と午後に分けた2部制を実施する学校もあります。また、教科書やノート類も充分ではないので、教師だけが教科書を持ち、生徒は教師の話聞き取ったり、黒板に書かれたものを写したりします。

さらに、貧困、通学困難、保護者の学校教育に対する意識の低さ、少数民族の子どもたちはラオス語を理解しないなどの理由で、せっかく入学しても退学する子どもが多くなっています。第1学年での退学率は34.1%です。

(2008年3月現在)



ラオスに残る不発弾 ~ 平和って何だろう? ~

❓ 戦争が終わっても、その傷跡は長く残ってしまうという事実、みなさんは知っていますか?

1 下の写真は何の写真だと思いますか? 日本と違うなと思うことはありますか?

A



B



C



特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会

2 では、次の資料を読んでみましょう。



インドシナ戦争が終わり、ラオスに平和な日々が訪れて既に20年以上の月日が流れました。しかしラオスでは現在もなお、戦争の被害者が後を絶ちません。15歳の少年タオ・ミーも、そうした被害者の一人です。タオがその左腕と両視力を失ったのは、むろん戦闘のせいではありません。家の養魚池をさらっていた最中、自分が生まれるよりもずっと昔に投下され、戦後もそのままになっていた爆弾が爆発したのです。

1964年から73年の間に、ラオスに投下された爆弾は200万トン以上といわれています。これは換算すると、8分ごとに約2トンの爆弾を9年間投下しつづけたのに相当する量になります。恐ろしいことに、そのうちの約3割が爆発しないまま、農地や沿道、村落に放置されています。

放置されたままの不発弾の多くは、年月とともに地面の下や植物の茂みなどにますます深く隠されています。また時がたつにつれて爆弾の外側も劣化し、軽い衝撃によって容易に爆発するようになります。不発弾の問題は、時間の経過とともに深刻化する一方なのです。

また不発弾による犠牲者の4割以上が子どもです。遊び道具に事欠かない日本の子どもには想像もできないことですが、緑や黄など鮮やかに彩られた爆弾は、ラオスの子どもの目には格好のおもちゃに映ってしまうのです。ある親はこう言います。「子どもに『触るな』と言っても無理ですよ。あたり一帯どこにでも落ちているんですから」

ラオスの人々にとって、日々の生活は今なお死と隣り合わせです。20年以上も前に終結したはずの戦争は、まだ終わっていないのです。



日本ユニセフ協会ウェブサイト「世界の子どもたち」

http://www.unicef.or.jp/children/children_now/laos/sek_ra2.html

3 上の写真に写っているのは不発弾でした。写真と資料を見て、みなさんはどう思いましたか? 「平和」というのは、どんな状況のことを言うのでしょうか? ラオスは平和でしょうか? 日本は平和でしょうか? 何があれば平和なのでしょう? みんなで話し合ってみましょう。





- A** 「危険!不発弾あり」の旗。不発弾や地雷が見つかったところには、住民が近づかないよう目印がたてられる
- B** 垣根の支柱に使用されている爆弾の弾体。
- C** 商家を支えているのは弾殻。

人々の日常生活、身近なところに爆弾が存在しているのです。

なぜ、ラオスに不発弾？ ～ベトナム戦争の傷跡～

1946年～1954年、ベトナムの独立をめぐるベトナムとフランスの間で戦われた第1次インドシナ戦争に続き、1960年～1975年ベトナムの南北統一をめぐる第2次インドシナ戦争とも呼ばれるベトナム戦争が起こりました。「インドシナ」というのは、場合によっていろいろ意味を持ちますが、一般的にベトナム、ラオス、カンボジアの3カ国を指すことが多いです。ベトナム戦争当時、ラオスはベトナム軍の物資の補給路となっていたこと、ラオス愛国戦線の本拠地があったこと、アメリカ軍のタイ空軍基地への帰路上であったことなどからラオス上空で多くの爆弾が投下されたのです。投下された爆撃の量はベトナムよりラオスの方が多いとされています。主要な爆弾は、500ポンドの大型爆弾およびクラスター爆弾（ボール爆弾）。本体の親爆弾（長さ2.3メートル、重さ430キロ、約200個のボール爆弾が詰まっている）が空中で半分に割れ、その中からボール爆弾が飛びだし、地上近くでさらにボール爆弾の中の鉄片（300個ぐらい）が飛び散るといって人命を奪うことが目的の爆弾なのです。200万トン以上の爆弾が投下され、そのうちの2割が爆発せず、不発弾として残ったとされています。

ラオス国内ではこの不発弾による死傷者数が毎年200人近くに上がっており、この不発弾の存在がラオスの経済復興を遅らせる大きな要因の一つになっているとされています。また、現在ラオスに埋まっている不発弾が完全に撤去されるには、あと数百年はかかるとも言われています。



クラスター爆弾、丸いモノがボール爆弾
小 650個、中202個入っている



地上に転がっている
ボール爆弾

特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会

不発弾処理のための取り組み

2008年12月3日、クラスター爆弾の使用や製造、輸出入がほぼ全面的に禁止され、製造・保有を禁じ、被害者支援や不発弾処理を定める『クラスター爆弾禁止条約』の署名式がノルウェー国オスロ市庁舎で行われました。署名国は約90カ国になる見込みです。有志国と非政府組織（NGO）が主導する軍縮条約としては、対人地雷禁止条約（99年発効）に続き、2例目となります。しかし、アメリカ、ロシア、中国など主な生産国・保有国は条約交渉に参加していないなど課題も残っています。

日本政府は、不発弾汚染の最も深刻な県、シエンクアン県で不発弾による犠牲者数を減らし、更に農業、その他の国内開発事業のために安全に利用できる土地面積を拡大することに貢献するため、日本NGO連携無償資金協力を行うことに成りました。平成20年2月28日、在ラオス日本大使館でその署名式が行われました。その事業を実際に行っているのが、今回写真を提供していただいた特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会（JMAS）です。



JMASラオス不発弾処理隊は、不発弾処理だけでなく、村々を巡回して不発弾の怖さや発見した時の処置等を紙芝居、人形劇、模型展示等を通じて、子どもたちや村人たちに教えている。

「平和」って何？

戦争がなければ平和でしょうか？ 一般的に戦争と平和は対義語として使われることが多いのですが、平和学の第一人者であるノルウェーの平和研究者ヨハン・ガルトゥングは「戦争もないが平和もない」という状況、つまり、極度の貧困、無秩序、不安定、不公平、弾圧、不平等、飢餓、医療施設の不在、低い識字率などの状況を「構造的暴力」とよび、これを排除してこそ平和が成立すると理論づけました。

また、インドの平和学者スガタ・ダスグプタも、平和の対極にあるのは戦争ではなく「非平和」であるとして、途上国では戦争がなくても平和ではないと、「戦争」と「平和」という2つの分け方は違うと唱えました。

では、日本は平和でしょうか？ 確かに戦争はありません。世界全体から見れば、経済的にも豊かです。さて、平和なのでしょう吗？





フォトギャラリー



ピエンチャン特別市内トンカンカン市場



ピエンチャン特別市最大の市場タラート・サオ



ラオスの朝の風物詩...托鉢



ラオス国家観光庁駐日代表事務所



ラオスでは花だけを飾ります(葉や茎は捨ててしまうのです)



しなやかで美しい伝統的舞踊

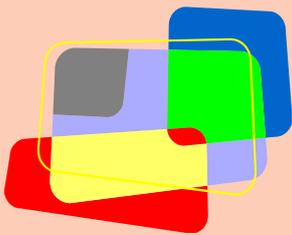


伝統的楽器「ケーン」。複雑な音色を奏でます。



第4章

そして未来へ

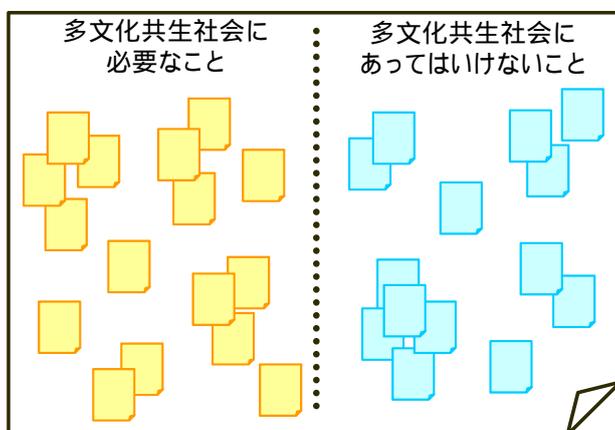


『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは
どうのことなのでしょう？



- 1 みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。
- 2 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- 3 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。
- 4 では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。
- 5 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。
- 6 全員で発表し、感想を話し合しましょう。

多文化共生社会とは
な社会
そんな社会を実現するための7か条
1
2
3
4
5
6
7



愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を『国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会』としています。

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。
20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？ だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年 月 日	20xx年 月 日

新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっているといいなと思うことを想像し、ニュース記事にまとめてみましょう。
模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース(あるいはラオスのニュース)を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を「国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題(グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ、これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

貧困と開発

南北問題に伴う貧困、それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など、地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

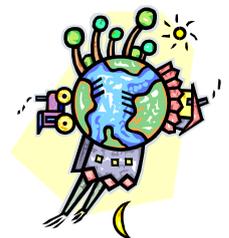
人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

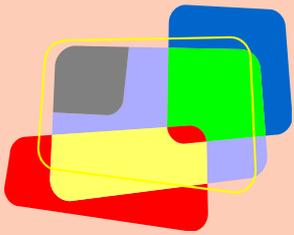
地域の課題と地球の課題はつながっている ~「持続可能な」社会を創るため~

地域の課題と地球の課題は別のものと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



參考資料



目で見えるラオス



1953年に独立した当時は、赤地に「3つの頭の白い象と、仏教の『五戒』を表す5つの階段、君主制のシンボルである傘」という国旗でしたが、1975年現在のデザインになりました。白円は太陽と平和と仏教を、青はメコン川と国土を、赤は社会主義革命とそのため血を表しています。

●人口●

 580万人(2006年世銀統計)



 128百万人



●面積●

 240,000km²

 377,887km²

●言語●

ラオス語



●宗教●

仏教

●通貨●

キープ(Kip)
1ドル=約8,500キープ
(2008年10月現在)



●気候帯●

南部:熱帯サバナ気候
北部:温帯夏雨気候



●民族●

低地ラオ族(60%)
他49民族



●平均気温●

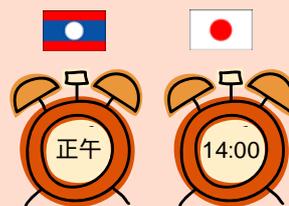


●年間降水量●



●日本との時差●

-2時間



 国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・民族・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) 言語・日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

農業・工業・林業・鉱業および水力発電



●日本との貿易主要品目●



木材製品・手工芸品・工業製品



工業製品・建設機材・原料

●一人あたりのGNI●



500米ドル(2006年世銀)



38,410米ドル(2006年世銀)



●在留邦人数●



453人(2007年10月現在)

●在日ラオス人数●

2,478人(2006年12月現在)

●出生時の平均余命●



64年



82年



●都市人口の比率●



21%(2006年)



66%(2006年)

●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)



12人(2006年)



4人(2006年)



●人口増加率●
(1990～2006年)

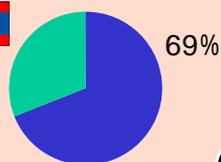


2.2%

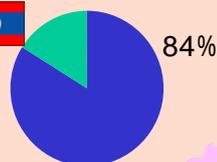


0.2%

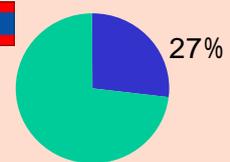
●成人の総識字率●
(2000～2005年)



●初等教育
純就学/出席率
(2000～2006年)



●1日1ドル以下で
暮らす人の比率
(1995～2006年)



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日当該国人数・外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・人口増加率・世界子供白書2008(ユニセフ)

ラオス地図







参考文献・データ等の出典

外務省「各国地域情勢」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html>

総務省統計局「日本の統計」

<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>

財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2008」

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

ラオス政府観光局

<http://www.lao.jp/index.html>

日本アセアンセンター

<http://www.asean.or.jp/>

特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会 (JMAS)

<http://www.jmas-ngo.jp/>

『ラオス』(ラオス国家観光庁駐日代表事務所)

『The Official LAO P.D.R.』(国際機関アセアンセンター)

『ラオスの布を楽しむ』チャントソン・インタヴォン(アートダイジェスト刊)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

多々良友加利 (JICA青年海外協力隊OG)

ラオス国家観光庁

特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会



2008年度教材作成チーム

一宮市 田原市

長久手町 幸田町

扶桑町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ラオス人民民主共和国 

2009年3月

発行 愛知県

**企画
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷 サンメッセ株式会社



